

(施策評価表75)

【施策番号IV-15-②-1】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦 略	【戦略15】夢を叶える教育 ～次代を担う人材を育てます～	主な施策	◆夢を広げる ～将来の熊本の発展を支える人材育成～
			②夢を広げる教育の展開		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・ 国際的な視野を広げ、日本やふるさと熊本の再認識につながる、中・高生の海外修学旅行と海外留学に対する助成制度を拡充します。</p>	熊本時習館海外大学進学支援事業 うち熊本時習館高校生海外留学支援事業	私学振興課	1,600 438	<ul style="list-style-type: none"> 海外留学する高校生に対し、留学費用の一部を支援金として交付する制度を創設した。 私立高校の海外高校留学者数は8人であり、年度目標を達成。また、海外大学進学者数は5人であった。 県立高校生の留学者数はH23年度の4人に対して、H24年度は11人と増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外大学に進学できる英語力の養成、海外進学に対応できる支援体制の構築に向け、「海外チャレンジ塾」を開講する。併せて、海外難関大学進学のための支援金の給付、州立モンタナ大学等進学のための奨学制度の拡充等により、海外へ挑戦する若者を総合的に支援する。 県立高校に海外修学旅行実施状況の情報提供を行う。 海外留学促進事業の要項を見直し、各学校への周知を進める。 県立高校校長会・私学校長会にて国際航空路線の利用促進のための取組みを説明。また、台湾・韓国向け修学旅行セミナー、韓国修学旅行モニターツアーを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状として、海外留学や海外大学進学に対する高校生の意識は高くはないと思われるため、海外へ挑戦する意識の醸成及び進学の実績づくりに取り組む必要がある。 安全確保や国際情勢の変化に影響を受けやすいなど、国内に比べて高い海外修学旅行のリスクへの対応を進めていく必要がある。 留学支援金を支給しても減少傾向にある本県高校生の留学者数の増加策を見出していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 留学への裾野の拡大や英語力の養成を通じて、H27年度までに私立で累計40人、公立で累計60人の海外高校への留学を実現し、海外への留学や進学の実績をつくる。 阿蘇くまもと空港を活用した韓国、台湾・中国向け修学旅行の増加を図る。
	高校生の海外留学促進事業	高校教育課	2,400 0	<ul style="list-style-type: none"> 県立高校海外修学旅行の実施基準の見直しした。 			
	阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業	交通政策課	107,119 37,593	<ul style="list-style-type: none"> 韓国・台湾修学旅行説明会に加え、県立・私学校長会での説明会を行うとともに、教員等を対象とするモニターツアーを実施。その結果、私立玉名女子高校による韓国修学旅行、県立大津高校による台湾修学旅行につながった。 			
				<ul style="list-style-type: none"> 熊本中央高校、玉名工業高校及びルーテル学院中等高等学校によるクラス単位等での韓国旅行が実施された。 			
				<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行 2校、456名 クラス単位旅行 3校、39名 合計 5校、495名 			
<p>・ 「熊本時習館構想」の取組みを引き続き展開する中で、将来のリーダーとなる人材を輩出するため、海外の難関大学への進学を支援する制度を創設します。</p>	熊本時習館海外大学進学支援事業 うち熊本時習館海外大学進学資金給付事業	私学振興課	73 0	<ul style="list-style-type: none"> 州立モンタナ大学進学のための奨学制度を創設。H25.3月にはキャロル大学と奨学制度に関する覚書を締結し、H25年度から奨学生を募集開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外大学に進学できる英語力の養成、海外進学に対応できる支援体制の構築に向け、「海外チャレンジ塾」を開講する。併せて、海外難関大学進学のための支援金の給付、州立モンタナ大学等進学のための奨学制度の拡充等により、海外へ挑戦する若者を総合的に支援する。また、生徒向けの講演会など熊本時習館構想に関する様々な取組みを引き続き展開する。 がんばる高校生表彰事業で、夢を持ち、夢に向かって学業、スポーツ、文化活動に日々努力している高校生等を引き続き表彰する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状として、海外留学や海外大学進学に対する高校生の意識は高くはないと思われるため、海外へ挑戦する意識の醸成及び進学の実績づくりに取り組む必要がある。 関係部局との連携を深めて、がんばる高校生表彰を継続していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 留学への裾野の拡大や英語力の養成を通じて、H27年度までに私立で累計40人の海外高校への留学を実現し、海外への留学や進学の実績をつくる。 学校のリーダーとなる生徒として、すべての学校から被表彰者を出すことを維持し、もってすべての学校における夢のある教育の実現を図る。
	がんばる高校生県表彰事業	高校教育課	1,680 1,146	<ul style="list-style-type: none"> 海外難関大学進学者に対し、進学資金を交付する制度を創設した。 私立高校の海外高校留学者数は8人であり、年度目標を達成した。また、海外大学進学者数は5人であった。 がんばる高校生表彰事業による各学校のリーダー的存在とも言える生徒の表彰、知事の講話を通して、夢を持ち、積極的に物事にチャレンジする意欲等を一層高めることができた(表彰者：県立高校62人、市立高校2人、特別支援学校11人5団体、私立学校19人)。 			
<p>・ 子どもたちが地場産業の魅力を身近に体験・理解できるよう、地元経済界などと連携した産業教育を展開します。</p>	将来の『夢＝仕事』発見事業	労働雇用課	6,054 7,450	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育応援団の登録事業所数が1,549事業所となった(前年比215事業所増)。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育に係る多様なニーズに対応していくため、関係部局が密接に連携して、キャリア教育の推進に資する事業を展開する。 全ての県立高校において、介護体験などの体験学習や小・中学校への学習支援など、進学後の進路希望に応じたインターンシップを推進し、知事部局が実施する事業への積極的な参加を促すなど、特に普通科(全日)における体験率を向上させる。 ものづくりチャレンジ事業のうち技能士を活用した体験教室では、引き続き多くの児童生徒にものづくりを体験する機会を設ける。また、専門高校生が行う実技指導講習会では、実施高校を1校増やし、より多くの小中学生にものづくりに触れる機会を設ける。 ジュニアマイスター等倍増による就業支援プロジェクトの高校生向け講習会では、更なる周知、実施講習種目増により受講者を50人増やし、より多くの高校生に地元企業を認知してもらうことで、熟練技能者の実践技術の習得につなげる。 技術者や熟練技能者等を専門高校に派遣し、実践的な技術・技能の習得に取り組みすることで、生徒の専門性の深化、進路目標の確立を図る。 生徒を直接指導する教員に技術・技能を習得させることで、生徒に還元させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者の勤労観・職業観を育む取組みとキャリア教育の充実に向け、産業界の支援を促進していく必要がある。 県立高校のインターンシップで、普通科(全日)の体験率は35.7%と高くはないため、参加者を増やす必要がある。 技能士を活用した体験教室について、より多くの児童生徒に体験する機会を設けるための方策を検討する。また、高校生が行う講習会について、各高校に事業の周知を図るとともに、小中学生が興味をもつ企画ができるような環境整備が必要である。 ジュニアマイスター等倍増による就業支援プロジェクトの高校生向け講習会について、講師の確保等、より幅広い分野での講習会を実施するための体制を整える必要がある。 技能検定の合格レベルが高度で、学校独自の取組みには限界があり、熟練技能者の選定に苦慮する職種もある中で、生徒の多様化する職種への対応や材料費の負担等を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 県立高校全校でのインターンシップ実施を継続し、県立高校(全日)における生徒の体験率70%をめざす。 ものづくりチャレンジ事業や将来の『夢＝仕事』発見事業の参加生徒・学生を増やしていく。 H27までにジュニアマイスター認定者を900人(H24:872人)、技能検定合格者を750人(H24:624人)に増やしていく。 技術・技能向上講習会について、参加生徒数700人、参加教職員数250人を目指して取り組んでいく。
	キャリア教育推進事業 うち高校生インターンシップ日本一事業	高校教育課	1,110 690	<ul style="list-style-type: none"> 「夢」教育サポート推進事業の登録者数が110名、職業講話聴講者数が10,152人となった。 将来の『夢＝仕事』発見事業を11講座実施し、利用者が170人となった。 			
	ものづくりチャレンジ事業	産業人材育成課	1,886 1,537	<ul style="list-style-type: none"> 地域の2,691事業所の協力を得て、県立高校全校でインターンシップを実施し、体験生徒数：7,279人、体験率：59.5%となった。 			
	将来の『夢＝仕事』発見事業 (ジュニアマイスター等倍増による就業支援プロジェクト)	産業人材育成課	4,616 3,547	<ul style="list-style-type: none"> 地元の技能士等と連携して実施したものづくりチャレンジ事業により、738人の小中学生が様々な技術・技能を体験できた。 			
	就業支援プロジェクト	高校教育課	1,889 1,688	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアマイスター等倍増による就業支援プロジェクトの地元企業の技術者や熟練技能者を講師として実施した高校生向け講習会を604人の高校生が受講し、実践的な技術・技能を習得した。 			
				<ul style="list-style-type: none"> 就業支援プロジェクトに604人の生徒、188人の教職員が参加し、技能検定合格者数624人(前年比296人増)、ジュニアマイスター認定者872人(前年比265人増、全国1位)となった。また、高校生ロボットコンテスト全国大会で優勝した。 			

(施策評価表75)

1 取組内容	2 主な事業 〔上段:H25事業 下段:H24事業〕	担当課	H25予算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
			H24決算(千円)				
<p>・ 県内の児童・生徒への「知事出前ゼミ」を継続し、子どもたちの夢を育む教育を推進します。</p>	教育振興基本計画推進事業(うち教育講演会)	教育政策課	63	<p>・ 知事出前ゼミを熊本市立城南小学校及び熊本市立力合中学校(小野副知事代理)で実施し、夢を持つことの大切さについての児童生徒の理解が深まった。</p>	<p>・ 引き続き、実施していく。</p>	<p>・ 学校からの多数の「知事出前ゼミ」実施要望に適切に対応していく必要がある。</p>	<p>・ 全市町村のできるだけ多くの学校等で知事出前ゼミを実施していく。</p>
<p>主な施策のまとめ</p>				<ul style="list-style-type: none"> ●私立高校の海外高校留学者数は8人で年度目標を達成。また、海外大学進学者数は5人。県立高校生の留学者数は11人。 ●キャリア教育応援団の登録事業所数が1,549事業所に増加。 ●県立高校全校でインターンシップを実施し、体験生徒数：7,279人、事業所数：2,691事業所、体験率：59.5%を達成。 ●ものづくりチャレンジ事業により、738人の小中学生が様々な技術・技能を体験。 ●知事出前ゼミを2校で実施し、夢を持つことの大切さについての児童生徒の理解が向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ●海外大学に進学できる英語力の養成、海外進学に対応できる支援体制の構築に向け、「海外チャレンジ塾」を開講。 ●州立モンタナ大学等進学のための奨学制度の拡充等により、海外へ挑戦する若者を総合的に支援。 ●キャリア教育に係る多様なニーズへの対応のため、関係部局が連携し、キャリア教育推進事業を展開。 	<ul style="list-style-type: none"> ●海外へ挑戦する意識の醸成及び進学の実績づくり。 ●県立高校普通科のインターンシップ体験率の増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ●私立で累計40人、公立で累計60人の海外高校への留学を実現。 ●県立高校(全日)のインターンシップ体験率を70%に向上。